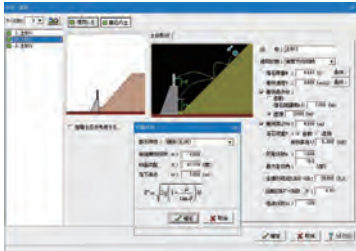
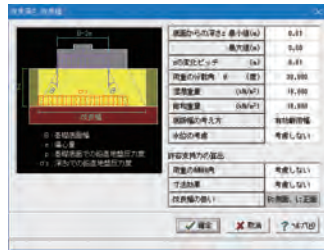


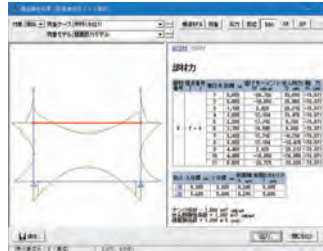
▼落石荷重入力



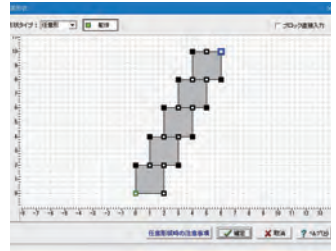
▼改良深さ、改良幅入力画面



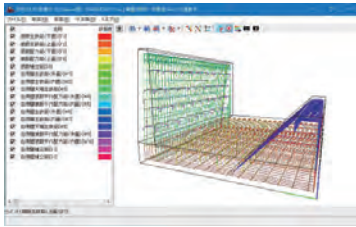
▼落石荷重入力



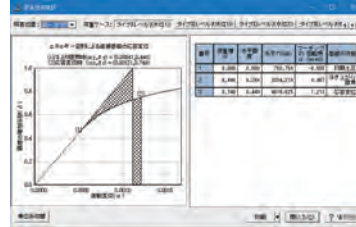
▼任意形状入力



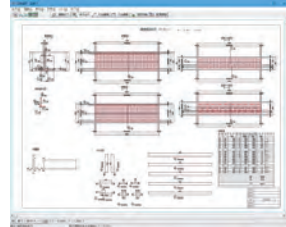
▼3DモデルIFC変換ツール



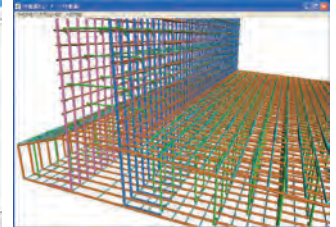
▼保耐法—安全性の検討画面



▼図面編集画面



▼3D配筋機能 拡大表示 (逆式擁壁)



擁壁の設計・3D配筋 (韓国基準版)

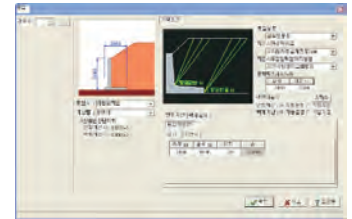
擁壁の設計計算、図面作成
プログラム (韓国基準対応版)

プログラム価格
¥695,200
(税抜 ¥632,000)

Windows 8/10 対応
計算・CAD統合
3D PDF

韓国基準である「道路橋設計基準」、「コンクリート構造物設計基準」、「構造物基礎設計基準」、「鉄道設計基準」に準拠した設計計算プログラムです。日本版の機能を継承しているため、安定計算、部材の設計からCAD作図も可能となっています。

- 土圧式: ランキン土圧、クーロン土圧、試行くさび土圧、物部岡部式地震時土圧
- 荷重: 固定荷重、活荷重 (鉄道含む)、水圧、風荷重、衝突荷重、地震荷重、土圧
- 転倒、滑動、支持力に対する安定計算
- 終局耐力に対する断面照査
- 韓国の鉄道設計便覧に準拠し、鉄道荷重を考慮した設計が可能
- 線路中心間隔、軌道荷重、列車活荷重、L荷重など組み合わせ可能
- 擁壁から軌道まで距離に応じた荷重を考慮可能



控え壁式擁壁の設計計算 Ver.7

控え壁式擁壁の安定計算、部材設計
を行なうプログラム

プログラム価格
¥157,300
(税抜 ¥143,000)

底版拡張オプション
¥44,000
(税抜 ¥40,000)
Windows 8/10 対応
3DA対応
電子納品 3D PDF

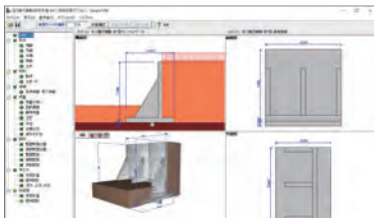
「土留擁壁・石積の設計と解説」等に示される控え壁式擁壁の設計手法を参考として、安定計算及び部材設計を行います。

- 形状タイプ: 逆T型、L型、天端形状: 前面突起、背面突起、前面張出、波返し工
- 【「擁壁の設計」で不可能な照査】
- 安定計算: 奥行方向の幅を考慮した全幅当りの照査
- 壁設計: 壁と控え壁とで支えられたスパンを連続版としてみなして設計、控え壁より上方部分は、通常の擁壁と同様に片持ち梁として設計
- かかと版設計: かかと版と控え壁とで支えられたスパンを連続版としてみなして設計、控え壁より後方部分は、通常の擁壁と同様に片持ち梁として設計
- 控え壁設計: 壁と控え壁、かかと版と控え壁で形成されるT形梁として照査
- 接合部の照査: 壁と控え壁、かかと版と控え壁の各接合部の鉄筋量照査、各部材の照査位置は、連続梁・控え壁、片持ち梁毎の個別指定が可能

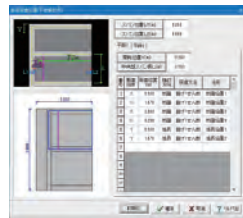
【底版拡張オプション】

- 杭基礎時・直接基礎時の平板解析が可能
- Engineer's Studio®の平板解析を用いて前壁及び控え壁を固定辺としたモデル化を行い材料線形として解析

▼メイン画面



▼平板解析用底版照査位置
入力画面 (底版拡張オプション)



ロックシェッドの設計計算

許容応力度法による
ロックシェッドの設計計算プログラム

プログラム価格
¥233,200
(税抜 ¥212,000)

Windows 8/10 対応
電子納品 3D PDF
体験セミナー

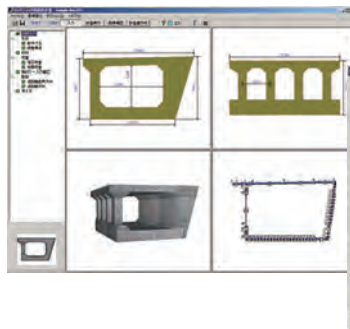
許容応力度法によりロックシェッドの部材設計を行うプログラムです。構造形式は、逆L式ラーメン構造(PC)、箱形式ラーメン構造(RC)の2形式に対応しています。

- ロックシェッドの形式: 逆L式PC構造、箱形式RC構造
- 設計法 (許容応力度法): 設計荷重時
- 設計状態: 常時、落石時、地震時
- その他の荷重: 背面土圧 (箱形式RC構造)
- 緩衝材: 砂単層緩衝構造、三層緩衝構造

適用基準及び参考文献

1. 落石対策便覧 H12年6月 日本道路協会
2. 構造工学シリーズ8 ロックシェッドの耐衝撃設計 H11年6月 第1版・第2刷 土木学会
3. PCロックシェッド設計の手引き H12年10月 プレストレスト・コンクリート建設業協会
4. 道路橋示方書・同解説Ⅲコンクリート橋 編 H14年3月 日本道路協会
5. 道路橋示方書・同解説Ⅳ下部構造編 編 H14年3月 日本道路協会

▼メイン画面



▼落石荷重入力

